

調 査 概 要

民間の発想や手法を取り込んだ社会資本整備検討業務

1. 調査内容

我が国における社会経済情勢の変化や今後の転換方策を踏まえ、有識者、民間企業にヒアリングを行い、社会資本整備に関わる、ハード・ソフトのあらゆる分野について、民間の発想や手法を取り込む手法等について検討を行う。また、民間の発想や手法を踏まえた社会資本整備に関する国内外の先進事例について事例集を作成する。

2. 調査成果

有識者等へのヒアリングの結果、民間の発想・手法の導入には、従来の事業プロセスに新たなプロセスを組み込む「事業プロセスの追加」と、従来の事業プロセスに新たな手法・考えを取り入れる「事業プロセスの内容変更」という2つの方向性で取り組むことが重要であり、その具体事項を整理した。

【事業プロセスの追加】

・「調査プロセスの追加」

調査～設計段階で複数回調査を実施し、継続の意志を決定するプロセス

・「プロモーションプロセスの追加」

供用前～供用後にかけて利用者をより増加させるために活動するプロセス

・「コミュニケーションプロセスの追加」

供用後に社会資本を有効活用するための働きかけを行うプロセス

・「モニタリングプロセスの追加」

供用後に社会資本の利用状況を調査するプロセス

【事業プロセスの内容変更】

・「発案・構想プロセスの変更」

社会資本の持つ機能の複合化を検討すること

・「調査プロセスの変更」

調査段階で利用者ニーズの把握手法（ターゲティング等）を工夫すること

また、マーケティング戦略やプロモーション手法など民間の発想や手法が活かされていると考えられる国内外の事例として8事例を収集・分析し、事例集として取りまとめた。

3. 活用方法

国や地方自治体など、社会資本の整備主体において、民間の優れた発想や手法を柔軟に取り入れながら、社会資本の効率的かつ効果的な整備を進めるために参考にしていただく資料として、今回の調査で作成した事例集を平成22年4月7日にホームページに掲載。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/sosei_region_fr_000004.html

4. 担当連絡先

国土交通省 総合政策局 事業総括調整官室
TEL (03) 5253-8111 (内線24-534)